

## 新日本グローブ空手道連盟 グローブ空手ルール試合規約

### 〈グローブ空手〉

S-1 S 軽量級	A-1 軽量級	B-1 中量級	C-1 重量級
56kg 以下級	62kg 以下級	68kg 以下級	73kg～83kg 以下級

### 〈ジュニアグローブ空手〉

A-1 Jr	B-1 Jr	C-1 Jr	D-1 Jr	E-1 Jr	F-1 Jr
小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生

### 〈中学生ワンマッチ〉

中学生 A-1 (男子)	中学生 B-1 (男子)	中学生 A-1 (女子)	中学生 B-1 (女子)
55kg 以下級	65kg 以下級	50kg 以下級	60kg 以下級

### 〈壮年部ワンマッチ〉

A-1 軽量級	B-1 中量級	C-1 重量級
62kg 以下級	68kg 以下級	73kg～83kg 以下級

※各階級、トーナメント戦の参加人数が少数の時、ワンマッチ試合になる場合があります。

### 【試合形式】

#### 〈グローブ空手〉

本戦2分、延長2分。決勝戦3分、延長2分。

※再延長は無しとし、体重が軽い方を勝者とする。

#### 〈ジュニアグローブ空手〉〈中学生ワンマッチ〉〈壮年部ワンマッチ〉

本戦1分30秒、延長1分。決勝戦1分30秒、延長1分。

※再延長は無しとし、体重が軽い方を勝者とする。

【防具】(試合用の防具は主催者側が用意する新日本グローブ空手道連盟認定の防具以外の装着、使用は不可)

#### 〈グローブ空手〉〈壮年部ワンマッチ〉

S-1・A-1・B-1・C-1 全て 14oz グローブ、スネパッド、ひざパッド、マウスピース、金カップ。道着の帯は試合中解けないようテーピング等で必ず止めること。

#### 〈ジュニアグローブ空手 中学生ワンマッチ〉

A-1Jr・B-1Jr・C-1Jr・D-1Jr・E-1Jr・F-1Jr 新日本グローブ空手道連盟認定グローブ、スネパッド、ひざパッド、金カップ、ヘッドギア。道着の帯は試合中解けないようテーピング等で必ず止めること。

※マウスピースの着用は自由とする。ボディープロテクターは女子選手のみ着用を自由とする。着用する場合は主催者側が用意したボディープロテクターに限る。

### 【出場資格】

〈グローブ空手〉満16歳～満45歳までの男性。キックボクシング又は打撃格闘技のプロを引退して15年以上試合をしていない選手は出場できる。

〈ジュニアグローブ空手〉小学校1年生から6年生の男女。

〈中学生ワンマッチ〉中学校1年生から3年生の男女。

〈壮年部ワンマッチ〉満46歳～満60歳までの男性。キックボクシング又は打撃格闘技のプロを引退して15年以上試合をしていない選手は出場できる。

### 【勝敗】(KO・TKO・技有り)

- (1) KO (一本勝ち) 5秒以上のダウンをした時。
- (2) 本戦で2度のダウンがあった時。延長戦も同じ。
- (3) 相手選手のセコンドよりタオル投入があった時。
- (4) 相手選手にダメージがあり、試合続行不可能になった時。
- (5) 両選手の実力差が歴然とある時は、試合途中においても勝敗の判定を下すことがある。
- (6) 相手が明らかに戦意喪失した時、又は審判がそれと判断した時。
- (7) 技有り・パンチ・キック等で、一時的に相手に的確にダメージを与えた時、倒れなくてもダウン(技有り)とする。
- (8) 選手が負傷し大会医師が試合続行不可能と判断した時は、試合を続行できる選手のTKO勝ちとする。
- (9) 故意に反則をした場合は反則負けとする。
- (10) 判定の場合、副審の旗が2本以上上がった側が勝ちとする。

### 【反則技】

- (1) 頭突き
- (2) 金的攻撃
- (3) 顔面への肘・膝
- (4) 目突き
- (5) 首絞め
- (6) 投げ技
- (7) 関節技
- (8) 嘔みつき
- (9) 倒れた相手への攻撃
- (10) 服、道着を掴んでの攻撃
- (11) 背後からの攻撃
- (12) やめの合図後の攻撃
- (13) 手足を掴む行為
- (14) 相手の体を手で掴んで(首相撲)の攻撃
- (15) 相手の足を故意に踏みつける行為
- (16) 一方的に攻撃を受け故意に場外に逃げたり、攻撃意思の無い態度の場合(場外カード3回で失格)。

※ジュニアグローブ空手、中学生ワンマッチは「蹴り」以外での顔面への攻撃は全て反則とする。  
1回目で警告、2回目で即失格とする。

### 【失格及びルール】

- (1) レフェリーの判断により、悪質な試合態度と判断された時。
  - (2) 試合時間に遅れた時。出場不可能な時。
  - (3) 測定体重がオーバーしている時。
  - (4) イエローカードを3回受けた時。(反則は口頭注意2回でイエローカード減点1)
  - (5) 故意に反則した時。
  - (6) マウスピースを着けずに出場したり、ワセリン・オイル・油脂類及び薬品類を塗布した時。
  - (7) セコンドの罵声、悪質な態度により選手が失格になることがある。
  - (8) コンタクトレンズを装着しての試合出場は認めない。
- ※上記に明記されていない不測の事態が生じた時は、大会審判長・レフェリー・審判による協議の上、最終判断を下す。